

令和3年第12回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

令和3年11月26日（金）午後1時59分から午後2時50分

○場 所

ふるさと館ちくしの 2階 研修室

○出席委員（5名）

教育長	上野 二三夫	教育委員	潮見 眞千子
教育委員	田代 邦夫	教育委員	牛川 由美
教育委員	久原 寛		

○欠席委員（0名）

○出席説明員（9名）

教育部長	長澤 龍彦	教育政策課長	吉開 和子
学校教育課長	嵯峨 栄二	学校給食課長	倉掛 伸夫
生涯学習課長	檜木 理恵	文化財課長	小鹿野 亮
文化・スポーツ振興課長	益永 晃	指導主事	村岡 陽子
社会教育主事	田中 翔		

○出席事務局職員（1名）

教育政策課 庶務担当係長	葉山 順子
-----------------	-------

○議事日程

1. 教育委員会会議録の承認について

令和3年第11回筑紫野市教育委員会会議録（令和3年10月28日開催）

2. 教育長の報告について（別紙）

3. 報告第7号 損害賠償の額を定めることについての専決処分について

4. 議案第26号 令和3年度筑紫野市一般会計補正予算（第8号）教育費について

5. 議案第27号 財産（建物）の取得について

○部課長の報告について

○その他

○次回の日程 【定例会】令和3年12月23日（木）午後2時00分 筑紫野市役所 505会議室

会議録

○教育長：皆さん、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから令和3年第12回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。では、議事日程の順序に従い、会議を進めます。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いします。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

○教育長「令和3年10月28日開催の令和3年第11回筑紫野市教育委員会会議録の承認について、ご異議はありませんか。」

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については承認をいただきました。

○日程第2、教育長の報告の件

- ・コロナ感染拡大防止のための取組について
- ・全国学力調査の結果について
- ・管内教育長会について
 - ・春日市での男子児童交通死亡事故について
 - ・愛知県での中3生死亡事故について
 - ・兵庫県での放火火災による小学生兄弟が亡くなった件について
 - ・ICT環境整備について（国の5か年計画が来年度で終了）
 - ・県のスタートアップセミナーについて
 - ・来年度の教育指導計画作成について
 - ・食物アレルギーに関する発症事故について
 - ・福岡県とびうめ教育論文の結果について
 - ・県の教育文化表彰について（近本明先生）
 - ・つくしライオンズクラブのほうからの寄贈について

（「結成60周年つくしライオンズクラブ」記念品として、小学校へタブレットを28台、中学校へノートパソコンを寄贈されました。）

○教育長：ただいまの報告について質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。

日程第3、報告第7号、損害賠償の額を定めることについての専決処分についての件について

○文化財課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を承認することにご異議はありませんか。

○（異議なし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第4、議案第26号、令和3年度筑紫野市一般会計補正予算（第8号）教育費についての件

○教育政策課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑はありませんか。

○田代教育委員：小中学校ICT環境の整備事業の中で、タブレット追加整備というのは、追加購入という意味ですか。

○教育政策課長：そのとおりでございます。今、ちょうど、児童生徒数分ぐらい整備したところですが、筑紫野市の子どもたちが多くなる予定になっておりますので、その分、来年度増える分などを見越してです。

○教育長：それで70台ということですか。

○教育政策課長：はい。

○田代教育委員：これは、もう購入されたのですか。これから購入するのですか。

○教育政策課長：まだこれは、今度の12月議会に補正予算の計上をするので、議決してからしか購入はできません。

それから、この用紙に「取扱い注意」と書いてありますが、まだ議会に提案する前でございますので、市民の方たちとかに、議会に上げる前にはお話ができませんので、「取扱い注意」とさせていただきます。よろしくお願ひします。

○田代教育委員：今、二日市あたりもそうですが、大きなマンションが結構建ってまして、かなり増えるのではないかと思うのが一つです。

それから、この間の講習会でもおっしゃっていましたが、世界的に半導体不足で、例えばテレビや洗濯機でさえも何か月も待たないと購入できない状況だと聞いております。4月からぐつと一気に増えそうな状況はあるのですか。

○学校教育課長：令和2年度の状況などを勘案しまして、二、三十名ぐらい増えるかと思っておりますので、今回の12月補正予算で計上させていただいて、4月までには追加で購入したいと思っております。

○教育長：増えるのは間違いないです。

○学校教育課長：現時点で、昨年導入しました9,100台はほぼ全部、満たしている状態になっておりますので、さらなるということになってきますので、早いうちに対応できればということで、今回の予算計上となっております。以上でございます。

○教育長：ありがとうございます。よろしいでしょうか。

○田代教育委員：はい。

○教育長：他に質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：それでは、質疑を打ち切ります。本件を承認することに、ご異議ありませんか。

○（異議なし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第5、議案第27号、財産（建物）の取得についての件

○教育政策課長：（提案理由の説明）

○田代教育委員：プレハブ校舎という言葉と1億9,000万円ということが、何となく自分の中で理解しにくいです。とても大きな金額です。リースの後は無償譲渡と言われたのですが、今のところ、何年ぐらい使う見込みでしょうか。

○教育政策課長：30年に耐えるものということで考えております。

○教育長：原田小学校は、何年になりますか。

○教育政策課長：10年です。

○教育長：奥のほうの建物です。普通の教室と何ら変わらないような感じですか。

○田代教育委員：プレハブというと、どうしても日差しとか冬の寒さとかに弱い部分がありますが、こういう建物はそういう影響はあまり受けないものですか。

○教育政策課長：今、原田小にこれと同じようなものが入っております。普通の工事現場にあるような仮設プレハブとは違い、しっかりしたもので、窓や空調もついておりますので、特に支障はないと考えています。見た感じでは、プレハブなのか普通の校舎なのか、区別がつかないぐらいしっかりしたものになっております。

○田代教育委員：分かりました。

○教育長：筑紫小学校もだんだん子どもの数が増えていっています。中尾主任は3月まで学校におられました。どうですか、中尾主任、このプレハブが建つことについては。

○中尾主任指導主事：児童数が増えていますので、ぜひ学校の意見も聞いていながら、使いやすいものができればいいかと思っております。

- 田代教育委員：何教室分くらいあるのですか。
- 教育政策課長：8教室でございます。
- 教育長：8教室です。上が四つ、下が四つ、4部屋、4部屋。トイレとかあるのですか。
- 教育政策課長：トイレも両方つきます。
- 教育長：上も下もトイレがあるのですか。
- 教育政策課長：はい、あります。
- 教育長：実際、工事が始まったら、どこに建つかも含めて、見学の計画をしましょう。部長もいいですか、そういうところを案内できますか。
- 教育部長：はい。
- 潮見教育委員：早速ですけども、先日、筑紫小学校にお邪魔する用事がありまして、ボランティアで伺ったのですが、とても古い学校ですのにすごくきれいだったのです。それにびっくりしました。その日は体育参観か何かが午前中あったとかおっしゃっていたのですが、本当に古いですが、とてもきれいでした。感心いたしました。
- 教育長：そうですね。ありがとうございます。ほかよろしいでしょうか。
- （特になし）
- 教育長：それでは、質疑を打ち切りたいと思います。本件を承認することにご異議はありませんか。
- （異議なし）
- 教育長：ご異議なしと認めます。よって原案のとおり承認をいただきました。以上で、本日の議事は終了いたしました。続きまして、各課等からの報告に移りたいと思います。
- 教育部長：
- ・総合教育会議についてのお礼
 - ・12月議会について
- 教育政策課長
- ・人権問題特集号（12月1日の広報挟み込）について
- 学校給食課長
- ・小中学校献立表について
- 生涯学習課長
- ・令和4年の成人式について
- 教育長：昨年に比べて成人する人は増えていますか。
- 生涯学習課長：去年は1,113名が対象者でした。今年は1,086名なので、50名ほど減ってはいま

す。

○教育長：なるほど、分かりました。

○文化・スポーツ振興課長

- ・ 1月23日、駅伝大会の実施について

○文化財課長

- ・ 企画展の展示見学について（お礼）
- ・ 学校への学習支援の貸出しパッケージの実物について

○潮見教育委員：今、貸出しはしているのですか。もう借りたところはあるのですか。

○文化財課長：今年、新たに取り組みましたのは山家岩戸神楽で、ほかの2件は前年度であります。山家岩戸神楽セットについては7校貸し出したという報告を受けております。

○潮見教育委員：よかったです。

○教育長：目標は、全校に借りてもらえるように。生徒たちも地元の文化、歴史を知らないといけません。本当そう思います。

○潮見教育委員：そのことについてなんですが、やはり私がボランティアで行っているときに、子どもたちと一緒に、社会科見学で天拝山公園、武蔵寺のほうに行ったのですが、担任の先生御自身が、武蔵寺のいわれとかを御存じないし、天拝公園、天拝山のお話も御存じなくて、少し残念だったと思います。

○教育長：残念です。校長会で言いましょう、事前学習が必要だということを。

○潮見教育委員：研修か何かのときに、せめて筑紫野市にいらっしゃるときは、子どもたちに伝えていただきたいと思います。以上です。

○教育長：ありがとうございます。この件もよろしいでしょうか。

○田代教育委員：一夜漬けだけでも。

○教育長：はい、校長会で言います。本当、コロナがだんだん終息しますと、遠足とか校外活動がまた元どおりになってくるでしょう。大事な御指摘でした。ありがとうございます。

○社会教育主事

- ・ 地域づくり人材養成研修を受講して

○教育長：それでは、続きまして、その他に移りたいと思います。

教育委員の皆様、部課長たちのほうから何かありましたら、出していただいて結構です。

○潮見教育委員：12月1日号の広報に、統括コーディネーターの募集をされていたのですが、ど

ういった業務をされるのか、内容はどうなのかを教えて下さい。

○生涯学習課長：こちらの統括コーディネーターという職種につきましては、次年度採用ということで、初めて募集させていただいているところです。

以前より、地域学校協働活動につきましては、国、県とも積極的に推進しているところではございましたが、筑紫野市においては、なかなかこの内容について進められていない部分もございました。その中で、今回、地域学校協働活動事業の中で、地域学校協働活動に関する協議をいろいろ、コミュニティ推進課、学校教育課、生涯学習課で行いまして、地域学校協働本部という組織を立ち上げるに当たり、それを統括する人材を採用したいということで、募集しているところです。

具体的な業務の内容につきましては、地域学校協働活動という学校と地域をつなぐような授業であったり、学校の強化を支援するような活動に関するコーディネート業務を主に行っていく中で、その調整であったり、その事業を実施するに当たって、調整役をしていただく地域コーディネーターという役割を果たす人が必要になってくると思いますが、そういった方の指導、研修、支援などの業務を行っていただこうと考えて、今回、資格を持っている方に応募いただけて、よい人材がいらっしゃれば、こちらのほうをお願いしたいということで募集させていただいております。

○潮見教育委員：本部は生涯学習課の中にできる予定ということですか。

○生涯学習課長：はい。

○潮見教育委員：なかなか、ほかと比べたら、かなり厳しい採用条件が書いてあると思いました。

○教育長：学校の先生の資格、それから社会教育主事の資格、そしてコミュニティ・スクールあたりに実際に携わった人、三つ条件があるので、これをクリアするというのはかなりハードル高いと、私自身は思いますが分かりません。いっぱいおられるかもしれません。これは、筑紫野市外からでもいいのですか。

○生涯学習課長：はい。特に制限はないです。

○教育長：楽しみです。

○生涯学習課長：そうです。

○久原教育委員：大変いいことだと思っています。コミュニティ・スクールのときにも言ったと思いますが、筑紫野市主体のコミュニティ・スクールをぜひともという中で地域学校協働本部が筑紫野市には今のところありません。地域活動推進事業は、それぞれ、今あっています。ですから、そういう部分を本部という形で広めていくというのは非常にいいことだと思っています。が、もう一つ、コミュニティ推進課との関係でぜひとも考えてほしいのは、コミュニティ・スクールだけでなく、要するに高齢者の関係も考えて欲しいです。今、高齢者支援事業が行われているの

ですが、例えば庭の草取りができない人のために、ボランティアの人たちが草取りをすとか、筑紫南が「たすけ愛・みなみ」という形で今しているのですが、やはりコーディネーターが必要で、今、一人おられます。コミュニティ・スクールのこの地域学校協働事業のコーディネーターと併せて、そこら辺の総合的な部分がこれから僕は必要になってくるという気がします。

子どもが学校で育つ部分と、福祉の部分で高齢者が、今度はそういう中で育っていきながら、高齢者と子どもたちを結んで、高齢者をまた助けていけるようなシステムも併せてと。

コミュニティ推進課の事業の拡大という部分と、それから、生涯学習課は人づくりの部分で人を育てていかないといけないという部分があるので、そこら辺の協働のやり方というのが今後必要になってくるのではないかと考えています。ぜひとも、今度そういう形を置かれることは非常にありがたいのですが、一方、進めてもらう部分も考えて、視野に入れとっていただけたらありがたいなと思います。

○教育長：ありがとうございました。大変貴重な御意見でした。

○生涯学習課長：それも踏まえて、コミュニティ推進課も一緒に参加で検討を進めておりますので、久原委員の御意見もコミュニティには伝えてまいりたいと思います。

○久原教育委員：今回、生涯学習課に一人でしょう。できたらコミュニティ推進課と話していかれる中で、コミュニティが七つありますので、7コミュニティにそこら辺でされる方がおられると、生涯学習課から7コミとのつながりが出てくると、もっと深まるかなという気もします。今後の課題だろうと思いますので、そういう意味で広げることも考えられるのではないかと意味合いで言いました。ぜひとも、視野に入れていただけたらと思います。

○生涯学習課長：ありがとうございます。

○教育長：ありがとうございました。また、いろいろとアドバイスをお願いします。

ほかにございませんか。

○（特になし）

○教育長：それでは、これもちまして、令和3年度第12回筑紫野市教育委員会定例会を閉会といたします。